



社会医療法人 行岡医学研究会

行岡病院

多職種のスタッフが協同し、 テーラーメイドのリハビリを提供



副院長

大澤 傑

●おおさわ・すぐる／日本
リハビリテーション医学
会認定リハビリテーショ
ン科専門医、代議員。

リハビリテーション
専従医

藤原 正昭

●ふじわら・まさあき／日
本脳神経外科学会認定
脳神経外科専門医。

大阪府北区にある行岡病院は、1世紀近くにわたって地域医療に専念。患者が安心して受けられる「やさしい医療」を実践してきた。同院は救急医療を始め、急性期、回復期、慢性期病棟を有しており、急性期から慢性期まで一貫した治療体制が整っている。また、他の診療科との連携も行っており、例えば歯科医や衛生士が患者の口腔内環境を整え摂食リハビリに繋げるほか、NST(栄養サポートチーム)による栄養管理も徹底している。

「当院は初代理事長が掲げた『協同』が院是となっています。リハビリテーション科専門医4名、理学療法士41名、作業療法士10名、言語聴覚士3名をはじめ、看護師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、薬剤師、公認心理師など多職種が連携し、一人ひとりの状態に適したプログラムを作成し、在宅医療・ケアにむけたテーラーメイドのリハビリを提供しています。また関連法人にセラピストを養成する大阪行岡医療大学があり、当院のことをよく知る学生が

Hospital Data



社会医療法人
行岡医学研究会
行岡病院



大阪府大阪市北区浮田2-2-3
TEL.06-6371-9921
<http://www.yukloka.or.jp/>

に貢献していく予定だ。

就職してきます。こうした病学一体の体制も特徴です」と大澤傑副院長は語る。

回復期リハビリテーション病棟の入院料は1〜6段階あり、同院の入院料は高い段階である(1)・(2)の基準を満たしている。リハビリテーション専従医である藤原正昭医師は「患者さんがリハビリを通じてどれくらい回復したかを示す数値にFIMを用いた実績指数があります。当院の指数は57・8と非常に高く在宅復帰率は95・5%です。(2021年1〜12月)と語る。入院料(1)・(2)の実績指数の基準値が40以上であることから同院のリハビリ成果が高いことが分かる。

「当院では、退院後も在宅でリハビリを受けて頂ける体制を整えております。ひとりでも多くの患者さんが要介護状態に陥らないよう支援してまいります」と両医師は話す。患者さんが退院後も安心してできる体制を整え、さらに地域医療



日本医療機能評価機構から回復期リハの付加機能評価を取得している。